

この人

この仕事



トゥーヴァージンズ社長

住友 千之氏

出版社の書店営業を代行するブ
リッジに14年間従事した後、トゥ
ーヴァージンズの営業部長を務め
ていた住友千之（ちゆき）氏が7
月1日、同社の代表取締役社長に
就いた。

2015年に設立し、建築書、
写真集、絵本、一般書、コミック
スなど多岐にわたるジャンルを刊
行して、設立以来8年連続で増収
決算を続けている新興出版社だ。

45歳で社長に
就任した。
営業の経験
は長いが、経
営にはこれま
で一切関わっ
てこなかった
同氏。金融関
係者へ挨拶ま
わりをしながら、資金繰り

や売上・労務管理など慣れない業
務をこなす。

「いまは不安しありません」
と小さな声で話し始め、「これま
で多くの書店員に支えられてきま
したが、それはこれからもきつと
同じ。人脈を活かし、会社の発展
に尽くすしかありません」と笑顔

培ってきた書店人脈を糧に

「眠れない日」乗り越えて

をつくるが、張り詰めるような緊
張感が滲む。

住友氏の人脈は04年に入社した
ブリッジ時代に培われてきた。東
京、神奈川、千葉、埼玉の首都圏
をはじめ、北海道や岩手、静岡、
愛知などを担当して、多くの出版
社の企画を書店員に案内した。そ

の出版社数は単品のスポット契約
を含め、多い時で30社、通常は20
社程度だったという。

業務は新刊説明、既刊書の補充
チェック、POPやポスターの掲
示依頼、さらには請け負う出版社
のヒアリング調査まである。ジャ
ンルはバラバラで、訪ねる書店担

当者も異なるが、「信用を得たく
て、とにかく足を運びました」。

書店営業は楽しいことばかりで
はなかった。辛いことが圧倒
的に多かったという。深夜、寝つ
けない日もあったが、ある日、書
店員から「この本を売るアイデア
を一緒に考えてほしい」と言われ

たことが忘れられないほど嬉しか
ったという。頼りにされたという
実感が原動力となり、住友氏を奮
い立たせた。酒席にも呼ばれるよ
うになり、書店員との関係性を深
めていく。

18年にトゥーヴァージンズに転
籍。前社長の後藤祐介氏の下でつ
くられた本を、いかに店頭におい
てもらうか――営業部長として陣
頭指揮をとり、同社の売上げを押し
上げていった。

ジブリ作品で描かれた建造物の
図録約300点を収載した『ジブ
リの立体建造物展 図録（八復刻
版）』は8万部（11刷）を発行す
る同社1番の売れ筋になった。

「同書はこれからもっともっと
売れる作品です。多くの書店人に
伝えたい」
そう話す同氏に柔らかな笑顔が
戻った。

(M)